

ヒューストン日本商工会 2024-2025年度 新会長就任挨拶

濱田 哲 Mitsubishi Corporation (Americas)

石川前会長を引き継ぎ、10月よりヒューストン日本商工会 (JBAH) 会長を務めさせていただきます北米三菱商事の濱田です。石川前会長のこれまでのご尽力・ご貢献に心より敬意を表すと共に深く感謝申し上げます。そして、今後も石川前会長が築かれたJapan-America Society of Houston (JASH) やGreater Houston Partnership (GHP) 等との好関係もさらに拡大すべく尽力したいと思っております。

さて、私自身、ヒューストンには今年3月末に着任しました。ロサンゼルス、ボストンに続き三度目、三場所目の米国駐在となります。それぞれの地にその時々の特徴がありましたが、今回は、デジタル技術の進化や人口増を背景とする米国成長の力強さをこれまで以上に実感しています。2024年は約80の国で投票が行われる「選挙の年」、とりわけ来月の米国大統領選は世界最大の関心事です。私自身、2008年・2016年・2020年と過去三回の大統領選を米国駐在員として目の当たりにしましたが、米国経済は一貫して継続的成長を遂げており、今回の選挙を通じて、その結果にかかわらず米国が引き続き成長し世界経済を牽引する構図は変わらないと思っています。

ここヒューストンに関しては、人口増や州外からの企業移入の増加が印象的です。弊社におきましても、ヒューストン支店が駐在員を含む従業員数でニューヨークを上回り事業活動量や重要性がますます高まっています。JBAHの会員登録数も、直近で 正団体会員116 社・会員総数969 名となり、コロナ以前の水準から184人程増えました。これは各社が陣容を厚くして当地での事業活動を強化している証と思います。

「パートナーシップ」「フレンドシップ」「次世代のために」が当会の3つの活動ミッションです。これらミッションの実現に向け、また、JBAHを通じた活動が参加メンバー皆様の事業活動の一助となりますよう、総領事館からのご支援も頂きながら取り組みたいと考えております。皆様方からのご協力とご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年10月1日



ジャパンフェスティバル 2024 故グレン権藤氏のレガシーを受け継ぎ開催される



2024 Japan Festival Houston Official Artwork Designed By Michael Jap

日米協会の傘下組織The Japanese Festival of Houston, Inc.主催の第31回ジャパンフェスティバルが9月7日(土)、8日(日)の2日間、例年通りHermann Parkにて開催されました。今年の開会式は土曜日の朝に行われ、例年通り総領事のご挨拶に続き、ヒューストン日本商工会から日本庭園を管理しているHermann Park Conservancyへ6,000ドルの寄付の小切手贈呈も行われました。開会式では、フェスティバルの創設者で今年7月にご逝去されたグレン権藤氏のレガシーを引き継ぎ、ヒューストン市民が日本の文化を体験できる場を提供できるよう、フェスティバルの成功と発展を祈りつつ関係団体の代表者達による鏡割りが行われました。

今回のフェスティバルのテーマは「明治時代」であり、各種催し、会場を彩る装飾、スタッフの装いにもこのテーマに応じた統一感をもたせており、ご来場の皆様にも没入感のある空間を体感していただけたものと思います。

日本商工会は、お馴染みとなったキッズ縁日として「金魚すくい、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り、輪投げ、ガラポン(くじ引き)」を展出し、日本のお祭りの雰囲気を醸成するように努めました。本縁日を通じて得た収益をもって日米協会に貢献できたことを嬉しく思います。



▲故グレン権藤氏
写真: Daphne Yuamidis of DAPHNE DESIGN

☆写真: Night Sky Creative

また、こちらも毎年恒例となっているコンサートに関しては、日本のメジャーアーティストであり国内外で精力的に演奏活動を行っている和楽器ユニットRin*が招聘されました。コンサート会場の演奏、盛り上がりは縁日ブースにも聴こえるほどで、会場全体を鮮やかに彩っていただきました。

両日ともに快晴に恵まれ、予想を上回る大盛況でしたが、運営に際し商工会会員各社様から200名近くにも及ぶボランティアの皆様にご協力いただいたおかげでご来場の皆様に存分に楽しんでいただき、笑顔のあふれる賑やかな文化交流の場を上げることができました。会員各社様、ボランティアの皆様には、この場をお借りし改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。(Sumitomo Corporation of Americas Japan Festival 事務局)

(6ページに続く)

第一副会長

六者交流会

川上 篤樹

Sumitomo Corporation of Americas



今年度、第一副会長及び六者交流会の担当を拝命いたしました、住友商事の川上と申します。コロナ禍の2021年に3度目のヒューストン駐在を開始し、早くも3年が経過、通算在任歴も15年目を迎えました。すっかり古株となりましたが、ヒューストンの急速な発展には毎回驚かされております。六者交流会では、各都市のお国自慢を楽しみにしつつ、我々のヒューストンを大いにアピールできるよう努めます。また、濱田新会長を微力ながらサポートし、商工会の活動が更に充実するよう努めて参る所存です。皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

副会長/JF委員長

ジャパンフェスティバル<主>

浅野 健一

Mitsui & Co. (U.S.A), Inc.



5月に当地2度目の駐在として着任した三井物産の浅野です。前はコロナ禍と凍害Uri今回は着任早々Berylに遭遇し、刺激満載のスタートとなりました。ヒューストンは入社前からの憧れの地として、仕事に加え、スポーツ観戦・ゴルフ・キャンプ・BBQにRoute66の旅、と全部盛りの楽しみ方を、と年甲斐もなくワクワクしております。さて、今般、商工会に関われる、との幸運を得ましたので、濱田新会長を微力ながらサポートさせて頂き、伝統あるジャパンフェスティバルを成功に導くべく尽力しますので、皆さまのご支援を宜しく願います。

副会長/文化委員長

ピクニック<主>

赤間 悟

Daikin Comfort Technology North America, Inc.



ヒューストン生活も7年半となりました。今年のヒューストンは、トルネードやハリケーンの被害が相次いで、被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。過日、開催されたジャパンフェスティバルは天候にも恵まれ、多くの市民の皆様にお越し頂き、日系企業、在ヒューストンの日本人の一人として、とても嬉しく思っております。

本年度も昨年に引き続き、副会長を拝命いたしました。会長をサポートし、商工会の活動を盛り上げるよう尽力いたしますので、どうぞ宜しくお願い致します。

副会長/特命理事(JASH対応)

ピクニック<副>

石川 隆次郎

Mitsubishi Heavy Industries America, Inc.



副会長(ピクニック副幹事)及びJASH(ヒューストン日米協会)対応特命理事を拝命しました三菱重工の石川です。気づけばヒューストン駐在8年目となり、家内と共にすっかりとヒューストンに馴染んできました。8年目ともなると会員企業様のなかでも駐在歴は長い方かと存じますのでその経験を活かし副幹事としてダイキン様のサポートに努めて参ります。また、JASH対応特命理事としては商工会とJASHの良き橋渡し役となることで、濱田新会長を支え商工会の更なる発展に尽力致します。引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

副会長/ソフトボール委員長

ソフトボール大会

岡本 素直

Osaka Gas USA Corporation



弊社は米国でシェールガス開発・販売、LNG生産・輸出、ガス火力・再生可能エネルギー発電・販売、新エネルギー開発(eメタン)の事業を行っており、皆様にも大変お世話になっております。

小職自身は、2022年4月の赴任以来、米国ならびにヒューストンの魅力にすっかり取り憑かれており、ヒューストン生活の素晴らしさを実感しております。都会ながらも自然に囲まれ、日本よりもスポーツ観戦やゴルフ等の機会も多く、楽しく過ごさせて頂いております。

今後とも皆様と共に、ヒューストン商工会発展に微力ながら尽力できれば幸いです。

定款の改定

副会長の定員数の変更

【変更の主旨】

現状の定款(第四条第二項)では、「副会長 5名」と規定されている(2023年7月に改定)。副会長は商工会が関与するイベントの執行や会長補佐を行う立場であり、幅広い企業からの協力を募りつつ、年度ごとの運営体制に柔軟性を持たせる観点から、副会長の定員を「5名」ではなく、「4名以上」として変更するもの。

【変更後の案】

第四条 第二項 役員

(a). 本会の活動ならびに運営は以下の役員によって行われるが、常任委員会に管理される。

会長・第一副会長・副会長 **4名以上** (以下略)

(b). 会長、第一副会長、副会長 **4名以上**、幹事および会計幹事は、毎年8月の定時総会において常任委員会によって選出され、任期は次に続く10月1日から1年間、あるいは適任の承継者が選出されるまでとする。

尚、当該決議については、9月の理事委員会にて承認、10月の常任委員会にて追認手続きを行うこととする。

幹事

東 遼佑

Mizuho Bank, Ltd.



2022年11月末に赴任して、あっという間に約2年が過ぎようとしています。ビジネス面でも盛況なヒューストン生活は、社会人生活の中でも濃密な2年間でしたが、当初目標に掲げていたダイエットの成果は見えてきていませんので継続課題といたします。また、今年こそたくさん場所へ旅行したいと考えていますので、お薦めがあればぜひ情報お待ちしております。昨年に引き続き幹事を務めさせていただきますが、商工会活動に携わる皆さまのお役に立てるように、微力ながら商工会活動を盛り上げていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

会計幹事

二見 真紀

Deloitte & Touche LLP



こんにちは、二見真紀です。現在、デロイトで会計監査および会計アドバイザーを担当しています。また、商工会の会計幹事を務めており、今年で2年目になります。

最近の趣味はドラマ鑑賞で、特に韓国ドラマにはまっています。ドラマを見ながら新しい言葉を覚えるのが楽しいです。休日は11歳の息子と一緒に過ごす時間を大切にしており、一緒にゲームをしたり、テニスやゴルフを楽しんでいます。

ヒューストンも2年目になりますが、これからも新しいレストランを探索したり、地元のイベントに参加したりして、地域の魅力をますます発見していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

新特命理事・常設委員長紹介

JASH担当の特命理事と JF・文化・ソフトボール各委員長は副会長が兼務しています。

特命理事

他団体対応・日本庭園



杉本 定省
All Nippon Airways Co., Ltd.

特命理事

安全・危機管理/広報副委員長



竹原 優
Marubeni America Corporation

特命理事

ジャパンフェスティバル(副)



川原 孝春
Kuraray America, Inc.

特命理事

ジャパンフェスティバル(副)



泥 克信
Kaneka America Holdings, Inc.

広報委員長

ガルフストリーム



稲田 徳弘
Japan Organization for Metal and Energy Security (JOGMEC)

企画・調査委員長

講演会



島田 英樹
Japan External Trade Organization Houston (JETRO)

ゴルフ委員長

テキサス会ゴルフ



奥山 久雄
ENEOS Americas Inc.

教育委員長

補習校運営委員長



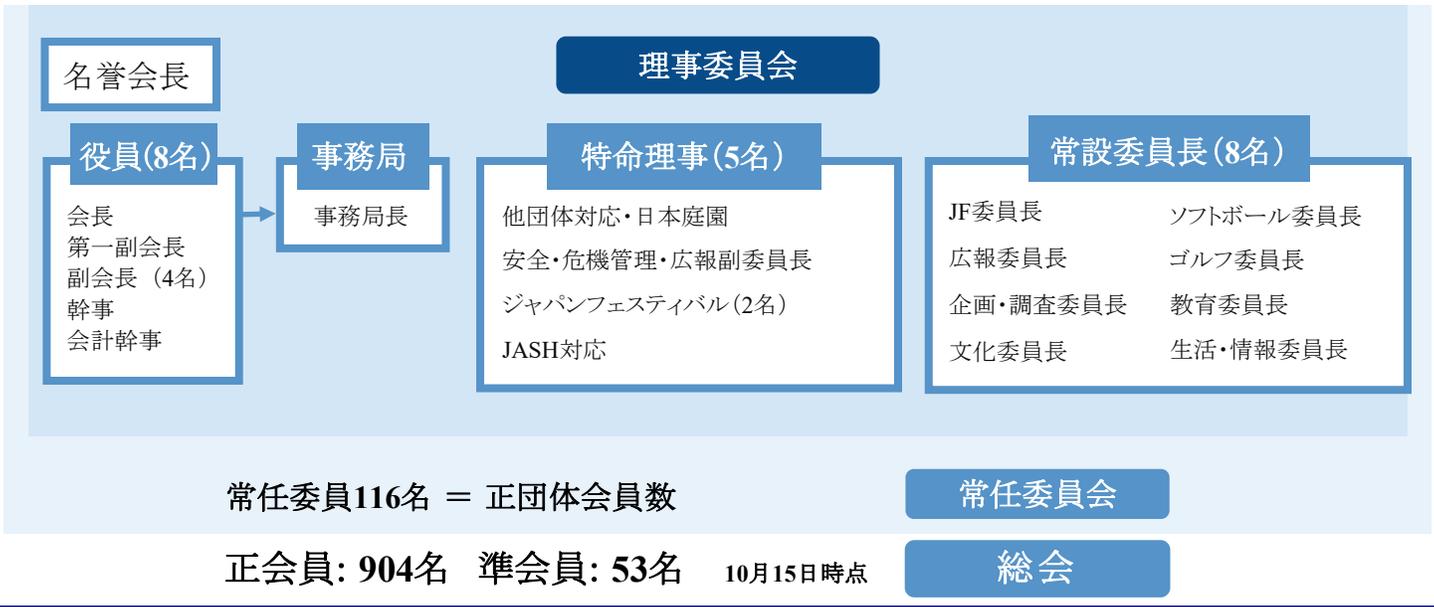
永岡 学
Sumitomo Corporation of Americas

生活・情報委員長

図書館/ピーカン活動
古本市等



根本 真樹子
Kintetsu International Express (U.S.A.), Inc.



令和5年度(2023-2024)9月 商工会理事委員会 議事録

日時 : 令和6年(2024年)9月18日(水) 12:00 - 13:30
 会場 : 三水会センター会議室(ハイブリッド形式)
 出席者 : 19名(うち名誉会長、名誉会員、理事委員12名、代理2名、
 オブザーバー2名、事務局長)
 欠席者 : 6名(うち会長委任4名、代理委任2名)

*会員消息(HP「[会員専用ページ](#)」参照)
 2024年9月15日現在:名誉会員数12名、正個人会員数888名、(正団体会員数 115社)、準会員数 54名、総会員数954名。準会員のグレン権藤氏のご逝去により、退会となった。

第578回 テキサス会ゴルフトーナメント



9月15日(日)に第578回テキサス会ゴルフトーナメントが The Golf Club at Cinco Ranch (男性6,396ヤード、男性シニア5,822ヤード、女性5,167ヤード、パー71)で開催されました。今回は61名が出場、笠井海さんがグロス82、ネット67.6で2月の大会に続き今年2度目の総合優勝を果たしました。

当日は好天に恵まれ、午前8時からのショットガンスタートも各組が順調にプレーして、ほぼ想定通りの時間に終了しました。

ベストグロスの部は牧山吉喜さんが74の好スコアで男性の部優勝、男性シニアの部は佐藤文昭さんと松村博夫さんがスコア85で同率優勝を果たし、女性の部は案浦スーザンさんがスコア93で制しました。

今回も多くの企業・団体様より賞品の協賛をいただき、大会の盛り上がりにつながりました。

これで今年の3大会はすべて終了し、次回は来年を予定しております。今年より賞品の原則当日持参、免責事項同意のペーパーレス化、オンラインスコア入力システム活用による集計の迅速化など、新しい試みを始めて事前準備や当日運用の省力化につながり、幹事会社・当日協力会社の方もプレーできるようになりました。引き続き大会を振り返りさらなる改善点を探し、来年以降のよりスムーズな運営に役立てる予定です。

(緒方庸介・緒方真弓=テキサス会幹事)



▲上位入賞を果たした(左から)佐藤さん、松村さん、笠井さん、案浦さん、牧山さん

▲多くの参加者による盛況ぶりを見せた閉会式

Artyz USA, LLC

準会員 佐伯 陽子 さん

1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

株式会社アーティーズは東京をベースに2013年に創立。日本は日本語以外の言語で対応できるデジタルマーケティング会社が少ないところで、弊社はデジタルマーケティングやクリエイティブを通じて日本国内外の企業のブランディングやセールスプロモーションを日本語や英語をはじめ、必要に応じて13か国語でサポートしています。企業のサイトやLP、eコマースサイトの制作や運営、オンライン上のパフォーマンスを高めるSEO/SEM施策、SNS運営、デジタルチャネルの最適化などを行っています。2021年にシンガポールとアメリカ・テキサスに法人登録を行い、日本、北米、東南アジアの3地域でのブランディング、セールスプロモーションが可能となりました。言語、商習慣、文化が異なる3つの地域をボーダレスにすべく、サービスを展開しています。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

過去3年テキサスを行き来しています。6月や7月の訪問が多いため、日本の蒸し暑さに比べてまだましな気もしますが、かなり暑いという印象です。ただ、お会いする皆様からはほかの季節にぜひ再訪をと勧められており、それを楽しみにしています。2025年には本格的に米国に移住し、ビジネスを拡大する予定です。

これまでカルフォルニア州やワシントン州に実際住んだ経験もあり、幾度も訪れていますが、現在はテキサス州が最も活気があると感じています。これからのテキサスでの新生活とビジネスに大きな期待を寄せているところです。また、私には2歳になる娘がいますが、彼女の学校生活も

サポートがしっかりしていると感じており、安心しています。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

趣味といえば、スキーやスノーボード、ボルダリングと体を動かすことが大好きなので、これからテキサスではどんな活動ができるのか追々見つけていきたいと思っています。そして、なにより、アメリカの広い土地でのびのびとできる環境が大好きなので週末は庭で家族や友人とBBQとかもいいかと思っています。

さらに、今まで経験してきた米国暮らしとは違い、幼い娘がいっしょなので、子供が楽しめる自然や公園、テーマパークなども休みごとに制覇していきたいと考えています。どこかいい場所がありましたら、ぜひ教えてください！



Nissei Trading America LLC

米国日世通商会社

準会員 平野 浩一 さん

1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

この度、1967年発足された歴史と名誉あるヒューストン日本商工会に入会させて頂き、とても光栄であり心より感謝申し上げます。また、会員の皆様には今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。当社は大阪に本社を置く「日世通株式会社」の米国法人として2024年に設立致しました。親会社は2000年に設立ですので今年で25年目を迎えます。業務内容は鉄鋼製品の製造・販売ならびに海外貿易を行っております。

アメリカでは、鉄鋼製品の中でも主にオイル&ガス産業に使用される油井管を取り扱っております。特にここテキサス州はオイル&ガス産業の中心地であり、関連する多くの日系企業の方々もいらっしゃいますので、これから皆さまからのご指導を賜りながら少しでもヒューストン日本商工会ならびにアメリカという大国に貢献出来ればと思っております。



2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

私が初めてヒューストンに来たのは10年以上前になります。ヒューストンに駐在されていた方を訪ねての視察出張でしたが、まずすべてのスケールの大きさ、広さに驚きました。そして、初めて行ったNASAでは子供の頃テレビで観たアポロの計画、月面着陸、スペースシャトルなどを

目の当たりにして感動を覚え、いずれここヒューストンで何か仕事が出来ればと思っておりました。今、いよいよ念願が叶い、これからアメリカでのビジネスをここヒューストンにてチャレンジして参りたいと思っております。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

私たち1960年代生まれの世代は、アメリカのアニメ、映画や文化、またハンバーガーに代表される食に初めて触れた時代であり幼少の頃から何よりもアメリカに憧れた世代であったと思います。大人になり仕事を通じてアメリカに来た時には見るものすべてに様々な感動を覚え、その気持ちは今も変わっておりません。

この機会にアメリカの歴史、文化、スポーツ、食、などに直接触れる機会が多くなりますのでとても楽しみにしております。併せてこのヒューストン日本商工会を通じて出来るだけ多くの皆さまと出会い、交流を深めて参りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。



左から二人目が平野さん

ジャパンフェスティバル 2024

(1ページ続き)

JAPAN FESTIVAL HOUSTON 2024

FOCUS



2024 Japan Festival Houston Official Artwork Designed By Michael Jap

キッズ縁日

9月7日と8日の週末に開催されたJapan Festivalは、予報通りの快晴と心地よい気温に恵まれ、まさにフェスティバル日和となりました。私たちが担当したKids縁日ブースは朝10時からの開場でしたが、10時前からすでに多くの人が集まり始め、11時頃にはほどのアクティビティにも長蛇の列ができました。2日間を通して人の流れが途切れることなく、運営側としては他のブースをじっくり見る暇もないほどの大盛況でした。主催の日米協会の方々も、ここ10年で最も多くの来場者があったと仰っていました。



日本人、非日本人を問わず縁日ブースにはリピーターも多く、用意していた2万枚の縁日用チケットは日曜の午後早い段階でなくなってしまうほどの賑わいで、朝から晩まで無邪気な笑い声が響き渡り、子供たちだけでなく大人の方々も童心に返って楽しんでいる様子が印象的でした。特に、金魚すくいやヨーヨー釣りでは、大人も子供も水しぶきにまみれながら夢中になって遊んでいました。

キッズ縁日の舞台裏

ボランティアの皆さん、ありがとうございました！



また、縁日ブースを訪れる人々の中にはたこ焼きや焼き鳥、スイーツ、ビールなどを持ち込む方も多く、我々運営スタッフの食欲を大いにそそりました。午後の少し落ち着いた時間を見計らって、いざこのタイミング！と公園向かいの日本食フードゾーンを訪ねてみると、すでに複数の商品が完売しており、泣く泣く屋台を後にしました…

和装着付けや絵馬、刀や和傘などのブースにも行列ができており、最近エミー賞で最多部門にノミネートされたドラマシリーズ「SHOGUN」の人気も手伝って、日本文化への関心が高まっていることを実感しました。今回のフェスティバルが日米文化の結びつきをさらに強めるものになったと確信します。

あつという間の2日間でしたが、来場者の皆様だけでなく、準備や運営に携わって頂いたボランティアの皆様にとっても心に残るイベントになったと思います。また来年に開催される際には、今年同様に多くの方にお越し頂ければと願っております。

(Sumitomo Corporation of Americas Japan Festival 事務局)



Rin' 和楽器音楽ユニットが特別公演

“I love you!”という観客からの声に、“I love you, Houston!”と返すRin'のメンバー達。9月7日(土)夜、Miller Outdoor TheaterでJapan Festival

が招聘した女性3名の和楽器音楽ユニットのRin'が、大盛況のうちに特別公演を行いました。Rin'は、日本の伝統楽器の箏、十七絃、琵琶、三味線、尺八を観客に紹介しながら、日本の曲からビートの効いたアメリカの曲まで様々な曲を演奏し、ヒューストン市民を魅了しました。



FOHOU JAPAN FESTIVAL HOUSTON 2024 (続き)

2024 Japan Festival Houston Official Artwork Designed By Michael Jap

今年のフェスティバルも、参加型アクティビティーが盛り沢山！だるま落とし、折り紙、けん玉、太鼓、お神輿などなど、子供も大人も日本の文化に触れながら楽しむ工夫がされていました。



ジャパンフェスティバル 2024 ショーイング・ジャパン

9月7日(土)、8日(日)に開催されたJapan Festivalは、前日まで降り続いた雨から一転して美しい青空が広がり、心地の良い風が吹く素晴らしいお天気になりました。午前中の早い時間から、沢山の来場者で賑わっていたHermann Parkの会場にあるShowing Japanのブースでは、ボランティアで参加くださった皆様とメンバーがお揃いの法被でお客様をお迎えいたしました。

物品販売のブースでは、日本製の小物や着物類、反物のハグレに漫画など様々な品を販売いたしました。今年も、沢山のお客様に興味を持って手にしていただくことができました。立ち寄ってくださった方の中には、大きいサイズの着物や半被などを探されている方が多くいらしたことも印象に残りました。

しおりのブースでは、日本の切手やシールを貼ったしおりにお客様のお

名前を日本語(カタカナ)で書いて差し上げました。しおりをご希望されるお客様の列は途切れることなく、2日分のつもりで準備していたしおりが土曜日の夕方にはなくなってしまう、急速、日曜日分のしおりを追加して用意することになりました。そのしおりも日曜日の午後にはなくなってしまう勢いで、しおりの人気の高さを再認識しつつ、多くの方に喜んでいただけたことは私達にとっても嬉しい体験となりました。

また、Showing Japanの活動や七五三・晴れ着の撮影会についてご質問をしてくださった方には、Instagramやホームページなどの情報もご案内させていただくことができました。

今年も沢山の方との出会いがあり、日本や日本の文化に興味を持たれている方がこんなにも沢山いらっしゃることを嬉しく思いつつ、今後の活動の広がりに期待を残す貴重な時間となりました。

11月16日(土)に七五三・晴れ着撮影会を開催いたします。詳細は[Instagram](#)や[ホームページ](#)でご確認ください。





今年の日本人会ブースでは、毎年大人気の本場大阪のタコ焼き、風味の良い焼き鳥、餡たっぷりアンパン、綿菓子を提供しました。

フェスティバルの前夜、総勢12名のボランティアでたこ焼きの下準備を行いました。約24キロのタコ、8キロの紅ショウガ、240束のねぎをひたすら切って切って切りまくり、ジャパンフェスティバルへ向けて意気が揚がります。

当日、タコ焼きは、ずらりと並んだ10台のタコ焼き器で、イケメンの男性・女性陣が一生懸命本場のタコ焼きを焼く姿を眼前に、長い列ができました。作っても作ってもその列は短くならず、初日は材料がなくなり終了。翌日は材料を増やしてフェスティバル終了時間まで焼けるだけ焼きました。小麦粉と卵やだしから作る生地は最適な調合が必要ですが、担当の皆さんは直ぐに習得。タコ、ネギ、天かす、鰹節などのトッピング補充、販売促進、集金までチームワークで対応。ジャパンフェスティバルならではの、出来立て熱々のタコ焼きを踊るかつお節とともに食す本場の味を、ヒューストンの現地の皆さんにお楽しみいただけました。

焼き鳥は他の出店が驚くほどの良い味。鉄板プレートの温度調整、湿度維持、プレートの掃除をチームワークで手際良くこなしてタレをつけて販売。両日とも早目に完売してしまいました。

アンパンは、大きい看板がなかったにも拘らず、両日とも1番早く完売。



高校生のボランティアによる購買意欲をそそる展示・販売のおかげです。お値段の割に餡の量が非常に多くて美味しいと好評で、一度食べて再度買いにこられた方も続出でした。

綿菓子は機械が故障するという不運に遭いましたが、直ぐに新しい機械を調達して対応。中学生、高校生のボランティアが手際よく作る大きめの綿菓子のボリュームに、来場者の子供さん達は大満足でした。

忙しくも、楽しく充実した今年の日本人会ブースは、お子様からご年配の方まで準備や運営にかかわったボランティアの皆さんにとっても心に残るイベントになったことと思います。ボランティアの皆さんは、先を読んで自発的に動かれるので非常に効率が高く、レストランが欲しがれる人材がたくさん居られました。暑さにも負けず頑張ってくださったボランティアの方々に感謝、感謝です。

今回は、初めてジャパンフェスティバル会場に来られた方も、初めてボランティアとして参加してくださった方もたくさんいました。これを機に、日本人会としての一体感を強め、来年につなげてまいります。尚、今回の収益は今後のイベント(懇親会、コンサート、落語、新年会等)を通じてヒューストンの日本人コミュニティの皆様へ還元する予定です。日本人会のイベントへのご参加をお待ちしています。(佐藤麻子)



リレー式 ヒューストン日記 第239回 松井 由佳さん

海外生活で不安な事の一つに医療の問題があると思います。ヒューストンに来て2年が経ちましたが、なんとこの2年間で子供が3回入院しました。まさかこんな時に、というタイミングで体調を崩すのが我が家の子供達です。我が家の体験がどなたかの参考になればという思いを込めて、これまでのことを振り返ってみたいと思います。

1回目の入院は、私たちがヒューストンに来て1カ月後の出来事でした。我が家の3人の子供は当時、長男7歳、次男3歳、長女生後9か月、私は小学校に通い始めた長男のサポート、次男のスクール探し、荷物の整理等で毎日パタパタと過ごしていました。そんな中、突然長女が発熱し片耳の後ろが腫れてきました。かかりつけ医の先生に見て頂き、抗生剤を試しましたが効果はなく、近くのTexas Children's HospitalのERを受診することになりました。ERでは11時間の待ち時間を経て入院が決定。しかし投薬では改善が見られず最終的には耳の後ろを切開する手術をすることになりました。まだ0歳の娘に全身麻酔をして手術をすることには不安も大きかったですが、幸い術後の経過もよく入院期間は3泊4日でした。

2回目の入院は、昨年の夏休みに私と子供達だけで一時帰国をした時の事でした。再び長女の高熱が続く呼吸も苦しそうだったので検査をしたところ、肺炎に陥っていることがわかりました。上2人の子供たちを実家の両親に預け、私は娘に付き添い6泊7日入院しました。

3回目の入院は、昨年のサンクスギビングでした。地中海クルーズ旅行を計画していた我が家。過去に2回の入院を経験している娘の体調管理に躍起になっていたところ、次男が発熱の前日に発熱しました。しまった！そっちゃん！次男は盲点でした。出発当日も次男の発熱は続き、海の上で缶詰状態になってしまうクルーズ旅行はリスクが高すぎるということで、泣く泣く全旅程をキャンセルしました。最終的には川崎病の症状だと

気づき、再びTexas Children's HospitalのERに駆け込みました。入院してすぐに治療を開始することができ、3泊4日の治療期間を経て退院となりました。

この短期間で日米両方での入院を経験した我が家ですが、様々な点で気づきがありました。

まずは、何とんでもアメリカの病室は快適でした。バスルーム、ソファベッド、デスクもあり、付き添いの大人にとっても非常に過ごしやすい環境でした。日本では病室も狭く、夜には娘が眠る子供用ベッドで添い寝していたことは大違いでした。二つ目は、Texas Children's Hospitalではビデオ電話を介した無料通訳サービスを利用できた事です。医師と会話する時はいつでもこのサービスを利用し、非常に助かりました。

医療費については、アメリカの医療費は高いと予め心の準備をしていますが、あまりにも高額な請求を見て気絶しそうになりました。それに比べて日本の医療費は非常に低額で日本は恵まれた国だと改めて感じました。

入院期間はアメリカでは非常に短く不安でしたが、医療費の請求書を見て早々に退院させてくれてありがとう！と心の中で叫んだ事は内緒です。

これらの経験を通して、まずはUrgent CareやERの場所、電話番号などの情報を事前に収集しておくことが大切だと感じました。行先を整理しておく緊急時すぐに判断ができるので安心です。また、母子手帳やお薬手帳にこれまでの日米での記録を集約しておくこともお勧めです。特にお薬手帳へは日本で処方されたお薬の成分名を英語で記入しておく、過去に使用したことがある解熱剤を病院でスムーズに伝えることができ便利でした。またERへ駆け込む際は長い待ち時間を見越して家事や子供の事など出来る範囲で済ませてから病院に向かうのがベストです。そしてERは冷房で極寒ですですので是非とも上着を持っていくのを忘れなく。

もしもの時に備えてこの日記が少しでも皆様の参考になれば幸いです。



第33回 ヒューストン補習校 vs ダラス校 親善ソフトボール大会

小学生

33回の歴史。続く想い。日本から離れた此の地で子供たちに勝利の喜びと敗戦の悔しさを。勝敗を超え言葉では言い表せない絆、感動を。そんな大人達から子供達への想い以上に、想像を遥かに超えてくる子供たちの躍動にいつも大人が感動してしまう。そんな年に一度の伝統行事、通称「ダラス戦」。

9月1日日曜日、雨の予報から一転、青空に優しい雲が影を作る最高の天気。両補習校児童・生徒、保護者を含め約450名がダラスの球場に集結。ダラス補習校高校長先生からの、「野球・ソフトボールは「失敗の連続の中で成功することに挑戦するスポーツ」とのお言葉、そして“感謝を胸に”という選手宣誓で大会は幕を開けた。



男子A with 応援チーム

【男女Mix B】 男女1-4年生チーム。互いに3点を取る攻防の末、最終7回に4年生女子など複数ホームランで引き離し17対12で勝利。

【男子D】 男子1-6年生混合チーム。互いに3点を取り合うシーソーゲーム。4回、ヒューストンの好守備でダラスが1点止まり。ヒューストンは3点を取り続け21対16で勝利。

【男子B】 男子4-6年生チーム。初回から連続ヒット、長打で得点しつつ、守備を固めて一気に突き放す。一球入魂のプレーが続き21対7で勝利。

【男女Mix A】 男子1-3年生主体に4年生が数名のチーム。1、2年の活躍に3、4年が続く好展開。守備の好プレイも見られ14対5で快勝。

【男女Mix C】 男女1-4年生主体チーム。互いに守備に課題を抱える試合展開。同点で迎えた5回のヒューストンの攻撃をフライダブルプレーに抑えたダラスが流れを手繰り寄せ、ヒューストンは16対18で惜敗。

【男子C】 男子3-6年生主体、野球未経験者と経験者の相乗効果を生み出すチーム。毎回上限の3点を得点し、好守備で守りも固め21対6の快勝。

【女子plus a】 女子2-6年生に男子2-4年生数名が助っ人に入ったチーム。午後の最も暑い時間、初回から互いに上限の5点を取り合う今大会最大の乱打戦。互いに逆転を繰り返し、20対20の同点で迎えた7回裏、ダラスのヒットでサヨナラ惜敗。

【男子A】 野球経験者中心に4-6年生で構成する小学生代表チーム。昨年の惜敗を胸に集中力高く試合が始まる。初回、打線がつながり上限5点を取るもダラスも裏に3得点で追いかける。内野フライのダイビングキャッチなど、一球入魂のプレーが続き試合が均衡。4回、ランニングホームラン含む連続安打で相手を突き放し、緩みなく最後まで守備を固めて12対5の快勝。



女子 plus a



男女 MixB



朝9時から17時までの8時間の熱闘を終え、閉会式でヒューストン補習校岡林校長先生から暑い中奮闘した選手を労い、33回もの長きに亘り大会を実現してきた運営委員及びコーチ、更に保護者の気持ちに寄り添うご挨拶を頂き一同感激し大会が締め括られた。

最後にこの場を借りて、今回のホストであるダラス側関係者、更にヒューストン補習校及び商工会関係者、懇親会等で大会を支えて下さった関係各位に感謝すると共に、年間を通じ子供達を指導しこの大会を実現して下さった運営委員そしてコーチ各位、そして保護者の皆様にも深く感謝申し上げます。

尚、来年以降は暑さを考慮し11月頃に開催スケジュールを変更予定。

(千葉 聡)



ヒューストンソフトボールチーム(小1～高3まで)は毎週土曜15時過ぎから補習校グラウンドで練習しています。補習校の生徒でなくても活動に参加できますので興味のある方は jeihsoftball@gmail.com までご連絡ください。(ガルフストリーム編集副委員長 竹原 優)

第33回 ヒューストン補習校 VS ダラス校 親善ソフトボール大会

9ページ続き

小学生



男子D



男女 MixC



男女 MixA



中学生



男子C



男子B

中高男子B 主将の晴生を中心に、郁理、泉、真樹人、優斗、康稀、侑生、啓、遥希、将洋、ジュリアンで挑んだ。初回から郁理、泉、真樹人、優斗と4連打を放ったが、好守備に阻まれて点が取れない。こちらもしっかりと守って無失点で凌いでいたが、3回裏にタイムリーヒットを打たれ、先制点を許す。5回に四球とヒットで追いついたが、その裏に再びリードを許す。最終回に侑生の二塁打で一矢報いるも、2対5で敗れる。実力的には均衡していたので悔しかったが、「負けたことがある」というのがいつか大きな財産になる」と信じて来年に期待したい。



中高女子 主将の実梨(高3)を中心に、真椰、オードリー、心美、麻央、日菜子、さくらと大人の助っ人3名(成瀬さん、田畑さん、梅溪さん)で挑んだ。初回から打線が大爆発。真椰が四球を選ぶと、オードリーのタイムリーツーベースを皮切りに、実梨、成瀬さん、心美と連続安打を放ち、一挙4点。2回表も連続ヒットで4点。3回も攻撃の手を緩めず、8点を奪取。また3回まで内野がしっかりと守って0点に抑えた。最後にダラスの猛攻を受けたが、16対5で快勝した。ノリに乗った楽しい試合だった。



中高男子A この1年間、智通と航太郎(高3)がチームを引っ張ってきた。そこに高校生の千洋、聖夏、彩人、仁、悠一郎、陽斗、エリッキとスーパー中学生の修悟と瑞葵が加わって、昨年の雪辱を果たすべく試合に挑んだ。初回から瑞葵の2点タイムリーが飛び出し、幸先が良い。しかし、すぐに抜かれて3対9。だが、彼らは諦めなかった。4回に一挙8点を入れて逆転。リードのまま最終回へ。2点を返され、なおもランナー1・2塁の一打逆転のピンチ。そこで、エース智通とサード航太郎がピッチャー交代を二人で決めた。この大胆な作戦は見事の中し、最後は航太郎が三振で仕留めて、16対14で勝利した。試合を観ていた人を熱くさせる、素晴らしい試合だった。



(桑畑 充)

今月号は宮川哲平先生から口腔外科ご専門の奥山紘平先生にバトンが移りました。

第237回

口内炎からはじまる口腔がん

テキサス大学MDアンダーソンがんセンター博士研究員

奥山 紘平



テキサス在住のみなさん、こんにちは。MDアンダーソンがんセンターにて博士研究員をしている奥山紘平と申します。現在は、頭頸部がんにおける末梢神経のミエリンが、腫瘍の増殖にどのように関わるかという研究をしています。日本では、ほぼ口腔がんに特化した口腔外科臨床に携わってきましたので、その中から少しお話しします。

さて、タイトルでいきなり怖い印象を与えますが、これは一部の稀なタイプを除き、ほとんどの口腔がんのケースで事実だと言えるでしょう。2019年、タレントの堀ちえみさんが舌がん（舌に発生した口腔がん）を公表したことは記憶に新しいですが、彼女のケースもまた「口内炎が治らない」ことをきっかけとしています。口腔や、その隣接部位である喉、鼻などは人間活動を行うための重要なセンサーが集約されている部位であり、呼吸する、話す、飲み込む、味わう、匂いを嗅ぐなど、生活の質を維持するための大切な機能を備えています。

1. 頭頸部がん・口腔がんの疫学について

先ほども書きました頭頸部がん、紛らわしいですが、口腔がんはこれに含まれます。公表されている現在の疫学は、口腔がんに特化したものより、頭頸部がん全体として調査されたものが主に使用されています。まず、頭頸部がんの最も一般的なタイプは扁平上皮がん、多くは、口、咽頭、声帯などの上部消化管の構造を覆っている平坦な上皮の細胞の層（粘膜）から始まります。米国では癌全体の約3~5%を占めており、2023年には約67,000人が頭頸部がんと診断され、約15,000人がこの病気で亡くなっています。先進国における頭頸部がん患者の5年生存率は約60%とされています。リスクファクターは、タバコや過度のアルコール摂取が筆頭で、約75%の患者がこれらに関連した発症とされています。近年では、咽頭がんではヒトパピローマウイルス(HPV)やEBウイルスなどの感染を介した若い人への発症も多く、HPV関連中咽頭がんは、すでに実用化されている子宮頸がんワクチン接種によって、男女問わず発症を予防できるがんの一つと言えます。

2. 口腔がん治療

口腔を含め、頭頸部がんの標準治療は手術療法が中心となります。口腔がんは初期のケースであれば手術で部分切除することにより治癒しま

すし、5年生存率も95%程度で、この段階では予後は良い方のがんと言えるでしょう。口腔は鏡で見えるので、異変に気づきやすく、また口内炎のような鋭い痛みを伴うので、多くのケースはこの段階で気づきやすいはずですが、経過観察が過度に長引いたり、口内炎に対する治療としてレーザーで焼灼(しょうしゃく)したりというケースなどは、かなり進行してから受診される患者も珍しくありません。一方で、頸部リンパ節にがんが転移することが多いのも特徴で、がんが見つかった時点で転移はなくても、手術後も画像検査を含めた十分な経過観察が必要です。初診時にすでに転移が認められた、あるいはがんの手術の後に出てきた場合、頸部郭清術という転移リンパ節を切除する手術を行う必要があります。さらに、切除検体の病理検査を行い、術後補助療法、すなわち化学療法・放射線療法の必要性が判断されます。標準治療は高容量シスプラチンに頭頸部への放射線外照射(最大66Gy)を組み合わせた、強度の高い治療となります。新規薬剤や治療法の開発が著しい昨今、実はこの頭頸部がんにおける術後標準治療の内容はここ20年以上変わっていないという驚くべき事実があります。しかし、近年では免疫チェックポイント阻害剤が頭頸部がんにおいても承認されて以降、その良好な治療成績が注目されていますが、ある一定の割合でその効果が得られない患者も存在し、今後はその治療効果を高める補助的な治療薬・治療法の開発が望まれます。現在この免疫チェックポイント阻害剤を使用した様々な前向き臨床試験が世界中で進行中であり(もちろん、このTMCにおいても)、現在の標準治療を革新するような結果が期待されています。

さて、先ほどお話しした「人間活動を行うための重要なセンサー」である頭頸部の臓器にメスを入れることは、ときに大きな後遺症を残します。口腔は、例えば歯茎の下にはすぐ顎の骨があるため、特に歯茎にできるがん(歯肉がん)や舌の下のがん(口底がん)の進行例では同時に顎骨切除も行う必要があります。この場合、歯も一緒に切除されますし、顎の骨を完全に離断(区域切除)するケースも多いです。がんを切除するという目標は達成されても、これでは話す、噛む、飲み込むという人間活動を営む重要な機能も失ってしまいます。そのため、それらの機能を再建するために、自家骨や皮弁移植を行います(血管ごと採取し、移植部および頸部の血管につなぎ、皮弁の血行を維持します)。多くの自家骨は肩甲骨、あるいは腓骨を採取し、残った顎骨に固定することで失った顎のアーチの部分を作ります。舌や口底では腹直筋や前外側大腿などのある程度ボリュームのある筋皮弁や、前腕などの薄くしなやかな皮弁を用いることが多いです。これらの手術はときに10時間以上に及ぶ大手術となり、患者の年齢や体力への考慮も必要となります。一方で、口腔内でかなり進行してしまった症例や遠隔臓器への転移がある症例に対しては、基本的には手術不能であり、化学療法を中心とした治療法が選択されます。

3. 早期発見のために

これまで書いてきたように手術が大きくなればなるほど、頭頸部の重要な機能を失う可能性が高く、また術後の整容の変化も大きいため、早期発見・早期治療が肝要です。こと口腔に関しては他の臓器と違い、「自分でも確認でき」、そして「明確な自覚症状がある」ことが特徴です。「口内炎がなかなか治らない」場合には、一度ご近所の口腔外科(Oral and Maxillo-facial Surgery)への受診をお勧めします。

次回は消化器外科ご専門の富田晃一先生です。現在は、同じMD Anderson Cancer Centerで、膵癌や胃癌に対する最先端のロボット手術に関する研究に従事されています。先生は、私の子供のチャイルドシートを引き取ってくださった親切な方です。新しいステージに向けて準備をされており、これからの素晴らしい日々を心から願っています。

ヒューストン知っさん物語

By Kumiko



Houston Walker

Oct. 19&20 Japanese Sake & Food Festival @ POST HOUSTON

日本酒を楽しむイベントが話題のスポット POSTで開かれます。10月19日は12時と17時スタート、20日は14時スタートの3セッション。平安時代創業の日本最古の酒蔵である茨城の須藤本家、新潟発のスパークリング日本酒ベンチャーNozomi Japan、白鶴やチョーヤ、アリゾナ州のOrigami Sakeまで、日米の酒造メーカーが参加します。

Oct. 27 Houston Pumpkin Festival @Discovery Green

ダウンタウンのディスカバリーグリーンでシティ派パンプキンフェスティバルが開催。パンプキン、ポートや列車、コーン迷路、50種以上のパンプキン販売があり、カボチャハウスや写真ブースでは素敵な写真が撮れそうです。チケットはオンラインの事前購入をお勧めします。ハロウインの楽しみ方については、2022年9月号もご参考に。

Oct. 31 Pumpkins After Dark @ Big Rivers Waterpark & Adventures

ウォーターパーク敷地内で開催されるこちらのパンプキンイベントは、1万個のカボチャを使用したカボチャ回廊やドラゴンや魔女などさまざまなキャラクターを模したカボチャの彫刻を光とサウンドと共に楽しめます。インスタ映え間違いなし。

内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。

Oct. 23 HOUSTON ROCKETS @ TOYOTA Center
NBAシーズンがスタート。ヒューストン・ロケッツ初戦はホームでシャーロット・ホーネッツと対戦。プレシーズンゲームとして10月17日にサンアントニオ・スパーズとの試合も予定されています。

Oct. 26 & 27 CAF Wings Over Houston Airshow @ ELLINGTON AIRPORT

毎年秋のヒューストン・エアショー。今年には人気の海軍ブルーエンジェルスが登場、6機が規則正しく並んで飛行する圧巻のパフォーマンスを披露。そのほかマッハ2の速さを記録するF-16戦闘機や、日本の零戦は真珠湾攻撃を再現。

Oct. 31 - Nov. 3 Quilt Festival Houston @ George R. Brown Convention Center

世界から毎年5万人が訪れる全米最大規模のキルトフェスティバル。キルトコンテスト、有名作家の作品展示、手芸用品の即売会やキルトのクラスなどが行われます。10月26-28日には同じ George R. Brown Convention Centerでキルトマーケットも開催されます。

Nov. 14 - 17 Houston Ballet Nutcracker Market @ NRG Center

ホリデーシーズンの始まりを告げるヒューストン・バレエ団主催のチャリティーマーケット。サンクスギビングやクリスマスのギフトに、センスの良いホリデー小物やテキサスグッズも手に入ります。

編集後記

私は2012年からガルフストリームの編集委員になりましたが、毎年同じ月に定番のイベントの特集を掲載してきました。その縁で10月といえば、ヒューストン日本商工会の年度が変わり、新しい役員の皆様のお顔とお名前が掲載されます。今年も今号に掲載された新役員の皆様を、益々注目される当地産業の日本企業のホームベースの顔として、頼もしく拝見いたしました。一方、今年初めてジャパンフェスティバルとダラス戦の記事が同じ号に！勝つても負けても学びの多いこのダラス戦、今年はヒューストンの圧勝で、なんだかジャパンフェスティバル成功の前哨戦のようでした。そしてジャパンフェスティバル。日本では連日記録を塗り替える酷暑が続く、日本より暑いヒューストンで9月に野外フェスティバルをやるなんて自殺行為だ、という声も少なくありませんでした。ところが今年は、爽やかな秋の訪れさえ感じさせる晴れて風爽やかな二日間となりました。しかも、出店に並んだ人の数から例年以上の来客数が実感できるほどで、すべての心配が杞憂に終わりました。開会式の記事でも触れられている、7月に亡くなられたグレン権藤さんが見守ってくださったのではないかと、不信心な私でさえ思ったほどです。商工会の縁日も大賑わいで、日本の伝統的かつ代表的なお祭りを皆さんが堪能されていました。…が、個人的なたった一つの心残り、金魚すくいポイ一枚で12匹は堅い「金魚すくい名人」の私が、今年は金魚すくいをやれなかったことです。来年のジャパンフェスティバルでは私の雄姿をお目にかけますので、乞うご期待。（編集委員 佐藤暁子）

ガルフストリームは毎月15日発行です。編集委員および投稿募集中！
問い合わせ先: sansuikai@jbahouston.org
ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。
https://www.jbahouston.org/gulfstream/

発行：ヒューストン日本商工会
発行責任者：濱田 哲
編集委員長：稲田 徳弘
構成・編集：ガルフストリーム編集委員一同

免責事項：本紙掲載の情報について、できる限り正確な情報を提供するように努めておりますが、正確性や安全性を保証するものではありません。情報が古くなっていることもございます。掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また本誌に掲載したリンク先の第三者サイトについて、同サイトに掲載されている内容を確認していません。ご自身の責任でご利用ください。